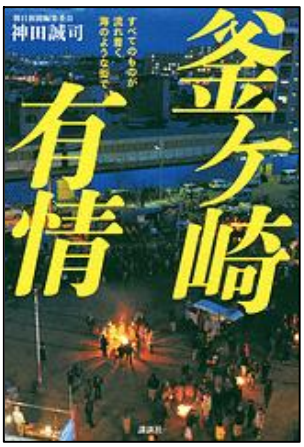
月刊 あなたにこの本を！ 平成24年7月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

…字が大きめ　…中高生にも　…図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。



釜ケ崎有情
ーすべてのものが流れ着く海のような街でー

神田誠司　著
講談社　1575 円　(0012455292)

ジャンル ： 大阪のゆかりの本

著者は、日本最大の日雇い労働者の街、大阪・釜ヶ崎の取材を通して、ドラマの塊のような街の現状を伝えるべく、悲喜こもごもの物語を記す。経営していたピアノ教室が震災で壊れ、釜ヶ崎で再生を果たしたピアニストや、「ホームレス自立支援法」成立に奔走した労働者。偏見や差別がある中、誇りを持ち、力強く生きる労働者と彼らを支える支援者の絆が静かな感動を呼ぶ。貧困や不況など、負のイメージで見られがちな街の違った顔が見えてくる。〔368.2〕

飼い喰い　ー三匹の豚とわたしー

内澤旬子　著
岩波書店　1995 円　(0012458918)

ジャンル ： 現代社会を見つめる

「肉になる前」を知るために、実際に豚を赤ちゃんから飼い、半年育てて食べることを実行した体験記である。イラストは繊細だが、一人で廃屋を借りて豚小屋を作り、知人の名前をつけた豚を体当たりで飼い育てる様子は圧巻で愉快だ。手塩にかけて育てた豚が1頭2万円にもならない現実には憤然とし、畜産業の厳しさに思いを寄せる。長い間ペットと家畜の境界に疑問を持ち続けていた著者の、愛情をもって育てた豚を食べるまでの逡巡と考察が興味深い。〔645.5〕

絵のある自伝

安野光雅　著
文藝春秋　1628 円　(0012404603)

ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ

海外でも高い評価を得ている画家が、戦時下で過ごした青年期の出来事や、代表作『旅の絵本』『ABCの本』の制作裏話などを、伸びやかに語る。父がいじめられたと勘違いして指圧師をたたいた長女、渡世人で見えっ張りの義兄、小学校で隣の席だった貧しい少女など、身近な人々に注がれる著者の眼差しは温かい。透明感のある色あいの水彩画が章ごとに付され、画家が出会った人物や風景を追体験できる。日本経済新聞「私の履歴書」の書籍化。〔723.1〕

マリー・アントワネット運命の 24 時間　－知られざるフランス革命、ヴァレンヌ逃亡－

中野京子　著
朝日新聞出版　1680 円　(0012453574)

ジャンル　：　歴史・文化に親しむ

西洋文化史家である著者が、フランス革命時、国王一家が変装して逃亡、国境近くで逮捕されたヴァレンヌ事件を、新発見の資料を使って再現する。数時間の遅れが運命を狂わせた逃亡の一日を、逃げる側、追う側双方の視点から臨場感たっぷりに描き出す。その中で、浪費家でわがままといった従来のアントワネット像とは異なる、凛とした王妃としての姿を提示するなど、それぞれの人物像を巧みに浮かび上がらせる。緊張感あふれる展開で一気に読ませる。〔235.06〕

人を助けるすんごい仕組み
－ボランティア経験のない僕が、日本最大級の支援組織をどうつくったのか－

西條剛央　著
ダイヤモンド社　1500 円　(0012455279)

ジャンル　：　現代社会を見つめる

東日本大震災後、現地に赴いた著者は、壊滅的な状況を見て「未曾有の事態では未曾有の自分になるしかない」と行動を開始する。被災地の要望と支援者をツイッターでマッチングして支援物資を無駄なく分配し、被災者の就労のため重機免許取得を支援するなど２万件以上の成果を上げた。本書はソーシャルメディアを用いた組織運営と活動の舞台裏を余さず紹介し、新しい形のボランティア像を示す。また、巻末の著者の経験を踏まえた提言は今後の参考となる。〔369.3〕

いのちをつなぐ海のものがたり

矢田勝美　著
ラトルズ　1470 円　(0012448762)

ジャンル　：　自然・環境を考える

三重県鈴鹿市で漁師の娘として生まれ育った著者が、知られざる漁師の生活を紹介する。伊勢湾は木曽三川をはじめ多くの川が流れ込む最良の漁場で、漁師たちは船に神様をまつり、魚の供養祭を行い、豊かな海を守るため水源となる山に植林に行くという。全身全霊で自然に向き合う人々に敬意を感じると共に、漁師という仕事が未来へと続くよう、海の自然環境について考えさせられる。産地ならではの旬の魚介類のレシピもイラスト入りで紹介され、楽しい。〔384.3〕

世界の紅茶　－400 年の歴史と未来－

磯淵　猛　著
朝日新聞出版　819 円　(0012449830)

ジャンル　：　歴史・文化に親しむ

著者が初めて訪れたスリランカで飲んだ、心地よい渋みと優しい甘さの紅茶への驚きから本書は始まる。17 世紀に中国で誕生した紅茶は、味や飲み方を変えつつ世界中に広まり、米国ではティーバッグが、日本ではペットボトルの紅茶が誕生した。それは、紅茶が嗜好品ではなく、水の次に安全で安心な生活飲料であるからと著者は考える。果物に紅茶を注いだデザートティーやティーカクテルなど、著者の提案する新しい紅茶を思い浮かべるだけで心が楽しくなる。〔619〕

写真がもっと好きになる。写真を観る編

菅原一剛　著
ソフトバンククリエイティブ　1680 円　(0012478939)

ジャンル　：　知識・教養を深める

写真家の著者は、キャパや土門拳ら著名な 16 人の写真家をとりあげ、その作品の観かたを解説する。ブレッソンの有名な写真集『決定的瞬間』は、瞬間を切り取ったというより、次に何が起きるかを想像できることが大きな魅力だと感じたことなど、個人的感覚を前面に語っている。素直でまっすぐな眼差しからは巨匠たちへの愛と尊敬が感じられる。写真家たちに改めて興味がわくとともにその作品を観たくなり、撮る人にとっても新たな視点を与えてくれる。〔740.4〕